

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科			
科目名称	知的障害児の心理と発達支援							授業形態		講義	
科目コード	750137	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	石本 隆士									ICT活 用	○
授業概要	知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を踏まえ、特に知的障害児の心理面に注目した発達について概説します。その上で、授業における知的障害児への適切な指導・支援の在り方について、特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの実務経験をもとにした具体的な事例を通して検討し理解を深めていきます。										
関連する科目	履修前に「知的障害児の心理・生理・病理」を履修しておくことが望ましい。										
授業の進め方 と方法	基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開します。確実な学びに向け、ICTを活用した即時的な知識・意見の共有と、段階的な振り返りを行います。また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図ります。										
授業計画 【第1回】	知的障害に関する基礎知識 知的障害の定義、分類、観察や検査を通じたアセスメント等を学びます。										
授業計画 【第2回】	知的障害児と知覚 感覚と知覚、視知覚能力、書字能力との関連を学びます。										
授業計画 【第3回】	知的障害児と運動 反射、知覚と運動の関係、バランス運動、行動調整機能について学びます。										
授業計画 【第4回】	音声言語と発達支援 語彙理解、 1 語文・2 語文の発話について学びます。										
授業計画 【第5回】	言語とコミュニケーション 音声言語獲得の前段階、言語獲得と社会的相互作用、AACについて学びます。										
授業計画 【第6回】	言語と行動調整 直接教示と先行教示、表象機能のアセスメントと活用を学びます。										
授業計画 【第7回】	言語の概念機能 言語化の世界、認知論と行動主義からのアプローチを学びます。										
授業計画 【第8回】	知的障害児と数概念 数の保存概念、数の初期概念と発達支援について学びます。										
授業計画 【第9回】	知的障害児と記憶 感覚情報貯蔵と符号化、メタ記憶、ワーキングメモリと発達支援を学びます。										
授業計画 【第10回】	知的障害児と注意 集束・抑制などの注意機能や持続的注意について学びます。										

授業計画 【第11回】	知的障害児と学習 刺激-反応の学習、弁別学習、見本合わせ課題、教材教具、ICTについて学びます。
授業計画 【第12回】	知的障害児と動機付け 正と負の反応傾向、外的指向性、自己概念について学びます。
授業計画 【第13回】	知的障害児と問題解決 認知課題や社会的場面での問題解決の制約と促進について学びます。
授業計画 【第14回】	知的障害に関連する諸障害 知的障害との関連を考えながら、てんかん、ダウン症、自閉スペクトラム症、LD、ADHDについて学びます。
授業計画 【第15回】	知的障害児の指導の実際 心理特性に注目した自立活動、個別の指導計画、教育課程、授業の実際について学びます。
授業の到達目標	知的障害の心理・生理・病理について概観した上で、特に心理面に焦点を当て、発達・特性を踏まえた指導・支援について理解することを目的に、以下の3点を到達目標として設定します。 1. 知的障害児の認知発達及び指導・支援について、感覚と運動の関係性もふまえて理解している。 2. コミュニケーションの基礎となる認知発達を理解した上で、知的障害児の状態・特性に合わせた指導・支援の在り方について理解している。 3. 知的障害児の状態・特性を踏まえ指導効果を高めるための学習環境整備、ICT活用、教材・教具の活用について理解している。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	授業の中で、次の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておいてください。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	配布したプリント等を基に内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等で更に深めたりしておいてください。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行います。
評価方法・基準	通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容(30%)、及び最終試験(70%)で総合的に評価します。
テキスト	文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)』開隆堂(159円＋税) なお、必要に応じて資料を用意する。
参考書	梅谷忠勇著(2004)『図解知的障害児の認知と学習-特性理解と援助-』田研出版(2,000円＋税) 宇佐川浩著(2007)『障害児の発達臨床Ⅰ感覚と運動の高次化からみた子ども理解』学苑社(2,800円＋税) 小池敏英・北島善夫(2003)『知的障害の心理学-発達支援からの理解-』北大路書房(2,800円＋税)
備考	37年間、公立小学校に勤務(通常の学級の担任5年、通級指導教室担当14年、特別支援学級担任18年)。